



しずおかフィナンシャルグループ

SFG REPORT

2023年3月期 営業の中間ご報告

2022 December



掲げるのは、地域と私たちの挑戦。



Contents

- | | | |
|--------------------------|------------------------|-----------|
| 1 Top Message | 9 課題解決型
企業グループをめざして | 15 営業のご報告 |
| 3 しずおかフィナンシャル
グループの設立 | 17 株主の皆さまへ | |
| 5 TOPICS | 11 サステナビリティへの
取り組み | 18 グループ会社 |

このたびの台風15号の豪雨災害により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、皆さまの安全と被災地域の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

静岡銀行グループは、本年10月3日に持株会社体制に移行し、「しずおかフィナンシャルグループ」として新たなスタートを切りました。これからも地域やお客さまの課題やニーズを起点とした課題解決にグループ丸となって力を注ぎ、地域とグループ双方の持続的な成長をめざしてまいります。

これまで静岡銀行グループは、少子高齢化や人口減少、超低金利政策の長期化など、さまざまな環境変化が起きるなか、2005年度から開始した第9次中期経営計画より「自立」と「連携」をキーワードに、グループ経営の強化に着手し、事務集中化やBPR等の生産性向上施策やグループ営業戦略の実施、マネックスグループ等との異業種連携の拡充など、グループの総合力強化に継続して取り組んでまいりました。

しかしながら、地域金融機関を取り巻く経営環境の変化は、経済・社会情勢やライフスタイル・価値観の変化、異業種参入による競争激化等を背景に加速度を増し、同時にそのインパクトは大きくなっています。一方で、規制緩和にも大きな変化があり、昨年11月の銀行法改正で、銀行持株会社や銀行の業務範囲が拡大されたほか、一定基準を満たす銀行持株会社は届出のみで子会社設立が可能となるなど、スピード感をもって新たな事業領域を拡大できるようになりました。こうした環境下において、私たちが地域とともに成長し続けるためには、グループとしての総合力を一層高め、地域の抱える多様で難易度の高い課題を徹底的に解決していくことが必要不可欠であると考え、持株会社体制への移行を決断しました。

持株会社体制では、これまで静岡銀行グループが培ってきた地域やお客さまとの信頼関係や信用力

をベースに、「地域の成長に貢献する新たな事業領域の拡大」「自立(自律)と連携によるグループ経営の強化」「柔軟かつ強固なガバナンス体制の構築」を3本柱に、課題解決型企業グループとしての総合力に磨きをかけ、地域・お客さま、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまの価値の最大化をめざしています。

この目的を果たすためにも、持株会社が扇の要のような存在となり、事業を推進するグループ会社間のシナジーを創出するとともに、人財をはじめとする経営資源を適切に配賦することで、新たな事業領域の開拓やグループ経営の高度化を進めていきたいと考えています。

また、検討段階である第1次中期経営計画では、企業理念やSDGsをゴールとして、2030年にめざす姿を「すべてのステークホルダーの皆さまがサステナブルかつ幸福度が高まっている状態」と定め、その実現に向けた計画の策定を進めています。

「掲げるのは、地域と私たちの挑戦。」

これは、私たちが、持株会社発足にあたって地域の皆さまに対する決意として定めたスローガンです。これまで数多くの皆さまに育てられ成長できたことへの感謝や、静岡に本拠を構える企業であることへの誇りを胸に、地域における総合金融グループとして質の高いサービスを提供し、皆さまの暮らしと事業の夢の実現に向けた積極果敢な挑戦を続けてまいります。

しずおかフィナンシャルグループのこれからのご期待いただくとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社長 柴田久



しずおかフィナンシャルグループ設立！

2022年10月3日、静岡銀行グループは、グループ各社の自立と連携をさらに強化するとともに、地域の成長に貢献する新たな事業領域の拡大とガバナンスの強化を図るため、しずおかフィナンシャルグループを設立し、持株会社体制に移行しました。



持株会社について

- 基本理念** 地域とともに夢と豊かさを広げます。
- 10年ビジョン** 地域の未来にコミットし、企業の成長をプロデュースする企業グループ
- 社内に込めた想い** 地域に支えられ成長できたことの「感謝」静岡に本拠を構える企業であることへの「誇り」

目的 すべてのステークホルダーの価値の最大化

- 地域・お客さま** 多様化・複雑化する課題の解決、良質で豊富な総合金融サービス
- 株主** 持続的成長による株主価値向上、株主還元の実現
- 従業員** グループ全体で多様な個性が活躍、働きがい・処遇・満足度向上



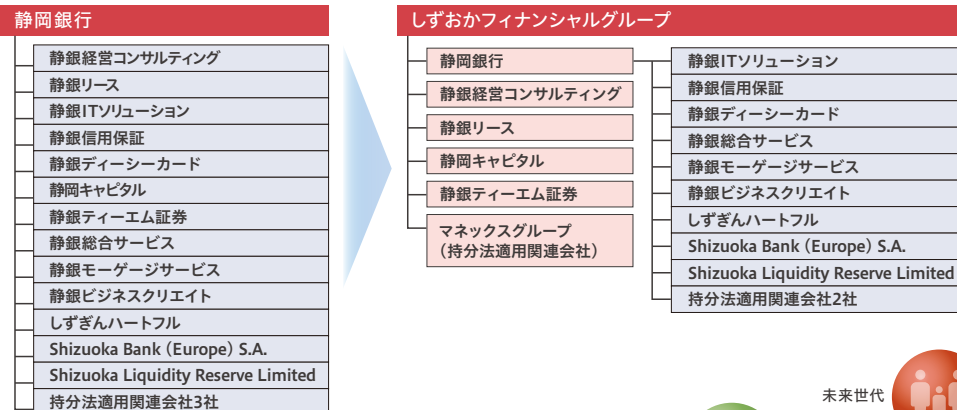
- 地域の成長に貢献する新たな事業領域の拡大
- 自立（自律）と連携によるグループ経営の強化
- 柔軟かつ強固なガバナンス体制の構築

普遍的なグループの土台

静岡銀行グループが長い歴史のなかで培ってきた地域社会・お客さまとの信頼関係、信用力

グループ内組織の再編

これまで静岡銀行の連結子会社であった5社（静岡経営コンサルティング、静銀リース、静岡キャピタル、静銀ティーエム証券、マネックスグループ（持分法適用関連会社））を、静岡銀行と同様に持株会社の直接出資会社としました。



戦略の方向性

2023年4月からスタートする第1次中期経営計画では、2030年にめざす姿を「すべてのステークホルダーがサステナブルかつ幸福度が高まっている状態」と定め、ステークホルダーに「未来世代」を追加します。



「しずぎんアプリ」の提供開始

2022年6月、静岡銀行ではインターネット支店専用アプリ「しずぎんWebWalletアプリ」を全店のお客さまに利用いただける「しずぎんアプリ」にバージョンアップ。スマートフォンで残高や入金明細を確認できるほか、振込やカードローンなどの取引を「いつでも、どこでも、かんたん」にご利用いただけます。



<p>POINT 1 生体認証</p> <p>生体認証を利用してかんたんにログイン。IDやパスワードの入力も不要！</p>		<p>POINT 2 利便性</p> <p>銀行の店舗やATMに行かなくても、残高・入金明細が確認でき、振込やカードローンなどもスマホで取引を完結！</p>	
<p>POINT 3 セキュリティ</p> <p>振込などのお取引には「ワンタイムパスワード」を必須とし、安全性を確保！</p>		<p>POINT 4 カスタマイズ</p> <p>トップ画面に表示する口座情報の背景を好みの写真や色などにカスタマイズが可能！</p>	

「しずぎんビジネスポータル」の提供開始

2022年9月、静岡銀行では法人・個人事業者向けポータルサイト「しずぎんビジネスポータル」の提供を開始。来店不要のオンライン申し込みをはじめ、ご登録口座の預金残高や入金金額の推移をグラフ化してわかりやすく表示したり、経営にお役立ていただける情報やお知らせを定期的に配信するなど、デジタルならではの便利な機能を搭載しています。

サービス内容

メッセージ・お知らせ	静岡銀行から経営に役立つ情報やタイムリーなお知らせなどを表示
口座一覧・入金明細	ご登録口座のリアルタイムな残高情報および入金明細情報を閲覧可能
各種サービス	本サービスと連携する各種デジタルサービスの利用が可能 例 WEB申込受付サービス ・各種コンサルティングの申し込み ・WEB-PCバンキングサービスの振込振替サービス入金指定口座届出 など



「しずぎん9号投資ファンド」の設立

2022年7月、静岡銀行と静岡キャピタルでは、株式上場を志向するベンチャー・スタートアップ企業の支援を目的に、共同で投資ファンドを設立しました。あらゆる業種・成長ステージの企業を支援しています。

これまでの実績

	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号
設立時期	1996年2月	2001年8月	2005年6月	2007年1月	2011年11月	2015年3月	2017年12月	2020年4月
総資金量	5億円	10億円	10億円	10億円	10億円	10億円	10億円	15億円
投資社数	16社	27社	31社	20社	24社	21社	24社	23社

9号ファンドの概要

総額
30億円
投資対象
静岡県・愛知県・神奈川県・東京都・大阪府に本社等を有するベンチャー・スタートアップ企業
期間
10年間
1社あたりの投資額
5億円以内

「ソーシャルローン」への取り組み

社会課題の解決への貢献と金融包摂などを目的とした「ソーシャルローン」の契約を五常・アンド・カンパニー(株)と(株)ARCALIS(アルカリス)と締結しました。

ソーシャルローンとは？

資金使途がソーシャルプロジェクト(社会的課題への対処・軽減、ポジティブな社会的成果の達成をめざすプロジェクト)に限定されるローン

五常・アンド・カンパニー(株)

契約日	2022年6月1日
事業内容	インドの金融グループ会社を通じたマイクロファイナンス事業
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●インドの金融グループ会社を通じ、金融サービスにアクセスできない人々に対するマイクロファイナンスを提供 ●女性の収入向上や女性起業家の売上拡大など、女性の経済的自立を促進
融資金額	5億円
関連するSDGs	

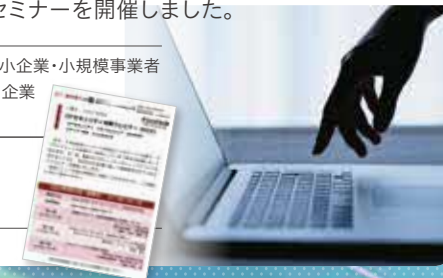
(株)ARCALIS

契約日	2022年10月31日
事業内容	新型コロナワクチンやがん治療、希少疾患の治療薬等としても効果が注目される「メッセンジャーRNA(mRNA)」の原薬製造工場建設資金
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●mRNAワクチンの国内生産拠点の確立(福島県南相馬市に建設予定) ●工場の建設による地域雇用の創出
組成金額	32億9,800万円 ※シンジケーション方式で静岡銀行が幹事金融機関として組成
関連するSDGs	

「ITセキュリティ対策オンラインセミナー」を開催

2022年8月、静岡銀行と静岡ITソリューションでは、近年、高度化・巧妙化するサイバー攻撃の対策を支援するため、中小企業・小規模事業者を対象としたセミナーを開催しました。

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ●最新のサイバー攻撃の動向と対策について興味のある中小企業・小規模事業者 ●セキュリティ対策ソリューションの導入を検討されている企業 ●サイバーリスク保険について興味のある企業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●最新のサイバー攻撃脅威動向と対策について ●セキュリティサービス beatのご紹介 ●サイバーリスク保険の活用



TECH BEAT Shizuoka 2022 を開催

2022年7月、静岡県内企業と首都圏のスタートアップ企業をつなぐ商談会「TECH BEAT Shizuoka 2022」を開催。牧島かれん前デジタル大臣による基調講演、県内建設会社3社の若手社長によるトークセッションなど、県内産業の活性化や新たなビジネスの創出をめざして実施しました。

- 【開催日】 2022年7月20日、21日
- 【来場者数】 1,937名
- 【商談件数】 149件(10月31日時点)
- 【参加スタートアップ企業】 59社
- 【オンライン視聴者数】 1,068名
- 【総視聴回数】 4,497回

出展企業の声



WHILL(株)
経営管理本部
財務部 部長
上原 隆志氏

久しぶりのリアル開催の展示会で、どれくらいのお客さまに会うことができるか期待していました。2日間ともに多くのお客さまが来場され、当社の製品やサービスを知っていただくことができ、とても有意義な時間を過ごせたと思っています。



(株)サイダス
執行役員 PS本部
セールsteam リーダー
井崎 綾氏

静岡銀行の兼業制度を利用して当社に勤務しているメンバーが声をかけてくれて出展することになりました。ありがたいことに、想像を超えるたくさんの商談のお話をいただけました。ぜひ、多くの静岡の企業の皆さまに当社のシステムを活用いただきたいと思います。



地方銀行との包括業務提携(アライアンス)

静岡銀行では、2020年10月に山梨中央銀行と、2022年4月に名古屋銀行と包括業務提携を締結。互いの経営資源や地域情報を共有しながら、地域の課題解決やグループの持続的な成長をめざした協業事業に取り組んでいます。



静岡・山梨アライアンス

Shizuoka・Yamanashi Alliance



静岡銀行



山梨中央銀行

2022年度上期のおもな協業事業

地方創生	<ul style="list-style-type: none"> ●個別商談会の実施 ●「静岡・山梨連携ものづくり商談会」の開催 ●「創業・第二創業スクール2022」の開講
人事交流	<ul style="list-style-type: none"> ●新入社員によるプレゼン大会の開催
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●事業承継ファンド「静岡・山梨みらい成長支援ファンド」の設立 ●通帳レス口座開設にともなう「富士山基金」への共同寄付の実施 ●移動店舗車「しずぎんクルリア」が山梨中央銀行の防災訓練に参加



◀ 個別商談会



▲ 移動店舗車の共同防災訓練参加



静岡・名古屋アライアンス

Shizuoka・Nagoya Alliance



静岡銀行



名古屋銀行

2022年10月、静岡モーゲージサービスが名古屋銀行と「担保不動産の調査および評価業務」に関する業務委託契約を締結しました。

提携内容

- 静岡・神奈川・東京などの遠隔地を対象とした担保不動産の調査および評価業務
 - 不動産ノンリコースローン*案件にかかる不動産鑑定評価書検証業務
- *特定の不動産のみを担保とし、その担保不動産から得られるキャッシュフロー(賃料収入や物件処分価値)を返済原資とするローン

2022年度上期のおもな協業事業

- 「中国コロナ対応 Web セミナー」の開催
- 「サイバーセキュリティセミナー」の開催
- 「EV化対応 部品・構造解説 Web セミナー」の開催



しずおか産学連携コミュニティ「Joint U Labo」を開設

産学金の連携により県内の大学発ベンチャーを育成し、静岡から全国や世界に羽ばたく企業の輩出をめざして、大学発ベンチャーと県内企業の「地域共創の場」となるオンラインコミュニティを開設しました。

大学発ベンチャー向けの研究機関や投資、融資サービス等の情報をまとめる産学連携コミュニティ



※(株)テイラーワークスが運営するオンラインコミュニティプラットフォーム「Tailor Works」内に開設



静岡銀行



山梨中央銀行



名古屋銀行

2022年11月、「人生100年時代の資産形成」に備える変額保険として、3行で共同開発した「つみたて果実」の提供を開始しました。

POINT

- 毎月コツコツ積立で運用しながら資産形成～家計にあわせて積立の増額・減額が可能～
- 余裕資金があればスポット増額で一気に積み上げ～スポット増額は選択ファンドに応じて効率的に実施～
- もしもの時の「あんしん」～万が一の際には死亡保険金として払込保険料を最低保証～



課題解決型企業グループをめざして しずおか フィナンシャルグループが一体となってさまざまなソリューションを提供

経営サポート

静銀リースは、設備の「導入」から「管理」、そして最終的な「処分」に至るまで、お客さまのあらゆる課題にリースを通じてスピーディにお応えしています。さまざまな業種に対応できるリースのプロフェッショナルが、地域のお客さまのニーズや経営課題の解決に全力で支援します。

サービス内容

- ファイナンス・リース
- オペレーティング・リース
- オートリース ●割賦販売
- 不動産リース ●補助金 など

サポート事例 1

静岡銀行本店営業部のお取引先は、新社屋の建設にあたり、旧社屋の土地活用を検討されていました。多岐にわたるお取引先の協力も得ながら、さまざまな支援策を検討した結果、静銀リースから不動産リースによる土地の有効活用をご提案しました。そして、旧社屋跡地に建設した建物には、テナントとして「ドラッグストア」が入居されることとなりました。これにより、お客さまは本業に加えて、長期にわたり安定的に不動産賃貸収入を得ることが可能となります。

リース業務を通じて、お客さまの想いに応えていきたい

この案件は、当社にとって初めての「不動産リース」の取り組みとなりました。不動産リースとは、リース会社が地主から土地を借り受け、テナントが希望する仕様の建物を建築し、テナントに対して賃貸する取引のことです。代表的な手法としては、事業用定期借地権（10～20年程度）を活用した建物リースになり、少額の初期投資で新規出店が可能となりますので、多店舗展開されているお客さまにご活用いただけるスキームだと思います。今回は私にとっても初めての不動産リースとなり、金額の計算方法をはじめ設備リース

などとは異なる点が多く苦労もありましたが、それ以上にたくさんのごことを学ぶことができました。そして、何よりも地主のお客さま、テナントのお客さま、双方の希望にお応えすることができ、喜んでいただけことが何よりもうれしく感じています。今後も、リース業務を通じて、環境負荷低減につながる設備の導入など、お客さまのあらゆる経営課題に応えるソリューションや付加価値の高いサービスを提供していきたいと思えます。ぜひ、リースを有効に活用し、効率的な会社経営にお役立てください。



静銀リース
武田 祐典

資産運用サポート

静銀ティーエム証券は、静岡県内に15拠点、神奈川県内2拠点、山梨県内1拠点と、多くの店舗網を有し、お客さまの夢（ライフプラン）の実現に向け、しっかりと寄り添い「お客さま一人ひとりに最適なポートフォリオの提案ができる証券会社」をめざしています。

サービス内容

- 投資信託
- 債券
- 株式
- NISA
- 定時定額買付
- しずぎんラップ など

サポート事例 2

静岡銀行しずおか支店のお取引先の企業経営者。将来の資産形成を見据え「インフレ対策として外貨を組み入れたポートフォリオを構築したい」と考えていらっしゃいました。そこで、さまざまな金融商品をご提案した結果、静銀ティーエム証券が取り扱う富裕層向け商品の「ドル建て債券」をご契約されました。現在は、保有商品の運用状況についてのアフターフォローや、今後のマーケットの見通しに関する情報提供を行うなど、さらなるリレーションを深めています。



静銀ティーエム証券
佐野 香織

ていねいな説明を心がけ、信頼関係を築いていきたい

投資経験が豊富なお客さまでしたから、リスク・リターンの変化する幅広い商品をご提案させていただきました。私たちがお客さまの資産運用をサポートするうえでもっとも大切にしているのは、ご自身が納得して契約いただくことです。そのため、商品の説明をていねいに行うことももちろん、デメリットについても正確、明確にお伝えしています。また、マーケットの環境が悪い時こそコミュニケーションを密にして、現状を説明することで、お客さまの不安を少しでも払拭できるよう

行動しています。こうしたていねいな説明を積み重ねていくことで、お客さまとの信頼関係を構築できると思っています。静銀ティーエム証券では、お客さまに最適なご提案ができるよう、多様な金融商品を取りそろえています。お客さまのご意向を何よりも大切にしながら、プラスアルファとして私たちの経験と知識にもとづく商品提案をさせていただきます。ぜひ、投資経験豊富なお客さまも、投資初心者のお客さまも、お気軽にご相談ください。

さまざまな角度から最適なソリューションを提案します！

5年ほど前、お客さまから「新社屋建設にあたり、旧社屋の土地活用を考えたい」とご相談いただき、静岡銀行の本部やグループ各社と連携を図りながら、お客さまにとって最適なスキームを検討しました。その結果、「不動産リース」をご提案させていただいたわけです。その後も、静銀リースとともに、お客さまのご希望や立地場所を考慮してテナントの候補先を探しました。この時は、地域住民の目線をもって、どんな店舗があれば利用したいと思えるのか、さまざまな角度から考えるようにしていました。ですから、実際に入居されたテナン

トを見た時は、時間を要しただけに喜びも大きかったですね。今、地域金融機関に求められるのは、どんな課題にも対応できるソリューションだと思っています。変化の激しい時代のなかで、お客さまの持続的な成長の実現をめざした最適なソリューションを提供できるのは、地域に幅広いネットワークをもつ私たちの強みだといえます。これからも地域のさまざまな動きにアンテナを高くもち、お客さまにとって有益な情報をスピーディに発信していきたいと思えます。そして、何かあれば真っ先に相談される存在になりたいです。



静岡キャピタル
(前任・静岡銀行)
杉山 正樹

最適な商品・サービスを最適なタイミングでご提案

会社を定期的に訪問し、社長にお困りごとや悩まれていることがないかお話をうかがうなかで、個人資産について「インフレに備えられる資産運用を考えたい」と声をかけていただきました。私が常に心がけているのは、お客さまのニーズをキャッチしたら、グループ内の適切な部署や会社にすぐに相談することです。今回お話いただいた時期は、円安が進行している状況で、社長はドル建ての金融商品を希望されていましたが、すぐに銀行で取り扱う金融商品をご提案するとともに、静銀ティーエム証

券とも連携し、証券会社の多彩な商品ラインアップについても説明させていただきました。お客さまからは「スピード感ある対応のおかげで、期を逃さずに判断することができたよ」とおっしゃっていただきました。私自身、あらためてお客さまのニーズに合った最適な商品・サービスを最適なタイミングで提供することの大切さを実感できました。今後も、しずおかフィナンシャルグループがもつ機能を最大限に活用し、お客さまのご意向に寄り添った提案を心がけていきたいと思えます。



しずおか支店
朝比奈 昭夫



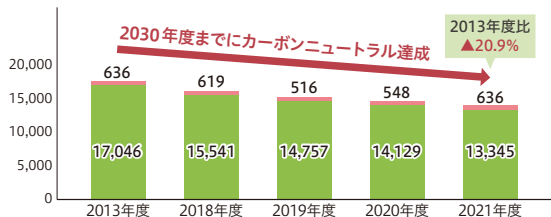
環境への取り組み

気候変動への対応

2020年3月にTCFD*への賛同を表明し、気候変動へのシナリオ分析や開示内容の充実を図るとともに、地域のスムーズな脱炭素社会への移行に向けて取り組んでいます。

*Task Force on Climate related Financial Disclosures (気候関連財務情報開示タスクフォース)

温室効果ガス (GHG) 排出量の削減実績



静岡Greenでんきの導入 (2021年9月)

- 中部電力グループ保有の静岡県内水力発電所の電気を購入
- 年間約▲1,800トン(▲10%)のGHG削減効果



しずぎんソーラーパークの設置 (2023年9月稼働予定)

- 中部電力グループが建設するメガソーラー発電所の電気を購入
- 年間約▲1,100トン(▲6%)のGHG削減効果



サステナブルファイナンスの推進

グループの総合金融サービスやコンサルティング業務などを通じて、SDGsの実現や地域のサステナビリティへの貢献に取り組む地域企業を支援しています。

また、静岡銀行では、環境省が実施する「令和4年度ESG地域金融促進事業」に採択されているほか、国と民間からの出資で設立された「(株)脱炭素化支援機構」に出資しています。

	2030年度までの目標	2022年度目標	2022年度上半期実績
サステナブルファイナンス	2兆円	1,150億円	1,632億円
うち環境関連ファイナンス	1兆円	575億円	837億円

「小さな親切」運動

郷土の自然環境を守り、次世代につなぐため、静銀総合サービス(株)内に静岡県本部を設置し、里山づくりやクリーン作戦などの環境保全活動に取り組んでいます。



安倍川河川敷の清掃活動

三保海岸の清掃活動



農林水産省が実施する「つなぐ棚田遺産」のオフィシャルサポーターとして棚田の保全活動に取り組んでいます。



人的資本への取り組み

社内ベンチャー制度

2021年にスタートした新人事制度の一環として、「自律と挑戦」「失敗からの学び」を浸透させ、変革の意識を行動につなげていくため、自ら事業アイデアを創出し、事業化に取り組む「社内ベンチャー制度」を開始しました。第1回目は、2021年9～11月にかけて新規事業案を募集し、59件の応募が集まりました。その後に行った書類審査および1次選考を通過した15件については、2022年8月に「プレゼン大会」を実施し、最優秀賞1件、優秀賞3件を決定しました。現在、受賞アイデアの事業化に向けた検討を進めています。



第1回 受賞アイデア

- 最優秀賞**
 - セキュリティトークンを活用した投資システム
- 優秀賞**
 - 外国人雇用企業に向けた新たなサービス展開
 - 周年企業向けサービス
 - 内部通報アウトソーシングサービス



リーダー教育(エグゼクティブアカデミー)の開催



しずおかフィナンシャルグループでは、計画的に次世代の中核人財を育成するため、段階的なリーダー教育を実施しています。2022年度より、リーダー教育の最上位となる「エグゼクティブアカデミー」を新設し、9月からスタートしました。本アカデミーでは、リベラルアーツ・ガバナンス・エシカル・時代の潮流等をテーマに、リーダーとしての基軸を形成するとともに、各分野におけるディスカッションを通じ、経営感覚を醸成します。

人的資本経営の実現に向けた取り組み

しずおかフィナンシャルグループでは、サステナビリティを経営の基本に据え、人的資本経営委員会を設置しました。経営戦略に連動した人財戦略の方針や施策の展開などを実施し、グループ一体となって地域とともに「持続的な成長」をめざします。また、下部組織として、現状重要な課題と考える3つのワーキンググループを設置し、具体的な施策を検討します。

人財育成ワーキンググループ

人事・人財育成施策等の方向性を議論し、グループの経営戦略と連動した人財戦略の実現をめざします。

DE&Iワーキンググループ

これまでのダイバーシティ推進委員会の活動を継承し、グループ横断的なDE&Iの実現をめざします。

Well-beingワーキンググループ

従業員が身体的・精神的・社会的に良好な状態で、熱意や活力をもって働くエンゲージメントの向上をめざします。

地域活性化に向けた取り組み

次世代経営者塾 Shizugin:ship ~経営者としてのスキルを磨き、生涯の友人と出会う場所

2022年度上期の活動実績 参加人数のべ**3,430**名 会員数 **692社 1,014**名(2022年9月末現在)

内容	開催実績
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	16回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	5講座8回
(特別企画)アオハルし放題(中・高校生とのコラボ企画)	1講座3回

ハイブリットセミナー
子育て・教育に活かす脳科学
 ~脳を育む環境~
 【開催日】2022年8月27日
 【講師】脳科学者 中野 信子 氏



参加者の声

- 子育てをするうえでとても考えさせられる内容だった
- 多様性、SQ・EQ(社会的知能指数・感情指数)、アート思考など、多くのキーワードが絡み合う刺激的なセミナーだった
- 仕事にも役立つ考え方があったり、同僚・部下との接し方などを学べた

ハイブリットセミナー
今の自分を超越する 【開催日】2022年5月21日
 【講師】弁護士 菊岡 千乃 氏

参加者の声

- 年齢に関わらず、チャレンジすることの大切さを再確認できた
- ありたい自分をイメージし、具体的な行動に移すことの重要性をあらためて感じた
- 自分を知る、自分の人生を考えるヒントを得ることができた
- 元アナウンサーのお話は聞きやすく、人として魅力にあふれた講師で刺激をもらった

※コロナ禍における開催形態としてハイブリット形式を基本とし、感染拡大防止対策を講じたうえで会場での会員同士の交流を再開

しずおかキッズアカデミー ~地域の魅力や産業を楽しく学び、地域の未来を担う人材へ

地域の子どもたちが、ふるさとの魅力や産業を楽しく学びながら郷土愛を育み、地域を担う人材へ成長することを目的に開催しています。

@稲取 旅館での「おもてなし」、「つるし雛」体験

開催日 2022年6月25日、26日
 会場 稲取銀水荘、いなとり荘、石花海
 参加者 44名(東部地区在住の小学生とその家族)



@三保 「三保サーモン」を知ろう

開催日 2022年9月10日
 会場 日建リース工業(株) 三保サーモン養殖場
 参加者 43名(静岡市在住の小学生とその家族)



with農産プロダクション by静岡農業高校

開催日 2022年9月25日
 会場 NEOPASA 静岡(上り)
 参加者 NEOPASA 静岡に来訪した小学生等130名



地域貢献活動

しずぎんニューフォニア・コンサート

国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。



第73回 タケカワユキヒデ(2022年8月 静岡市)

ライトアップコンサート「威風堂々」

浜松営業部本館のライトアップとともに、営業室内でのコンサートを開催しています。



浜松市立高校吹奏楽部(2022年10月)

しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしています。



第26回 瀧川鯉昇・瀧川鯉斗(2022年1月 沼津市)

しずぎんカップ サッカー・野球

地域の子どもたちのスポーツ活動を支援するため、「しずぎんカップ」として協賛しています。



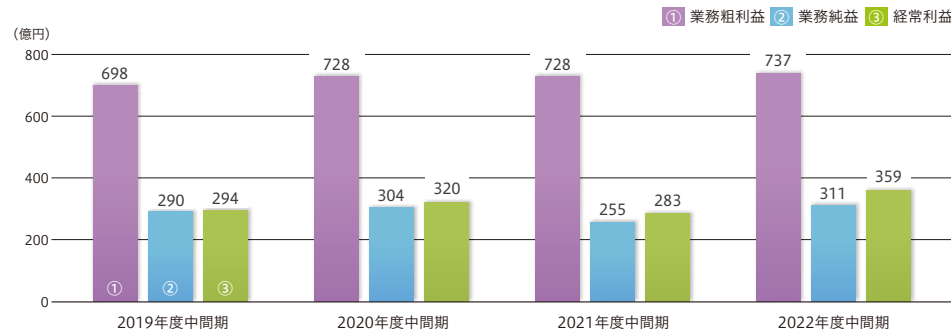
金融経済教育

常葉大学と静岡産業大学での「金融講座」をはじめ、地域の小・中・高等学校の児童・生徒を対象とした銀行見学会や講義等の実施を通じて、金融の仕組みや銀行が地域社会に果たす役割を学んでいただく金融経済教育に取り組んでいます。



業務粗利益・業務純益・経常利益の推移

2022年度中間期は、業務粗利益、業務純益いずれも増加し、経常利益は前年同期比75億円増益の359億円となりました。



主な経営指標(単体ベース)

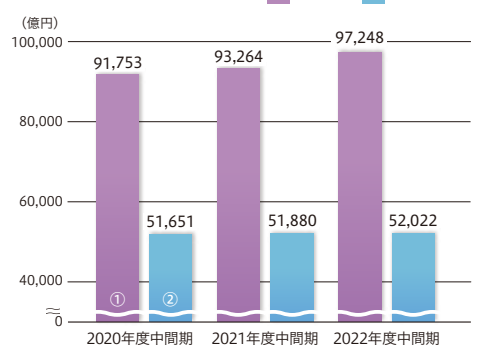
	2019年度中間期	2020年度中間期	2021年度中間期	2022年度中間期	前年同期比
ROE(中間純利益)	4.49	4.59	4.77	5.25	0.48
ROA(中間純利益)	0.37	0.35	0.36	0.37	0.01
OHR(経費/業務粗利益)	58.05	55.70	62.27	59.74	△2.53
1株当たり中間純利益(円)	37.41	38.70	43.44	47.44	4.00

1. 前年同期比は、表上で算出しています。
2. ROE(当期純利益)は決算短ベースにて算出しています。
3. 2022年度中間期の連結ベースROE(親会社株主に帰属する中間純利益)は5.12%です。

貸出金

2022年度中間期の貸出金残高(平残)は、前年同期比3,984億円増加し、9兆7,248億円となりました。

貸出金残高(平残)の推移

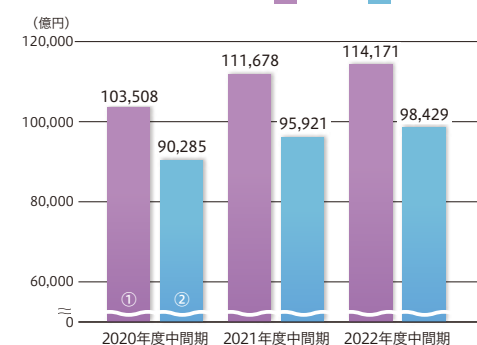


貸出金(平残)のうち静岡県内の割合 **53.4%**

預金

2022年度中間期の預金残高(平残)は、前年同期比2,493億円増加し、11兆4,171億円となりました。

預金残高(平残)の推移

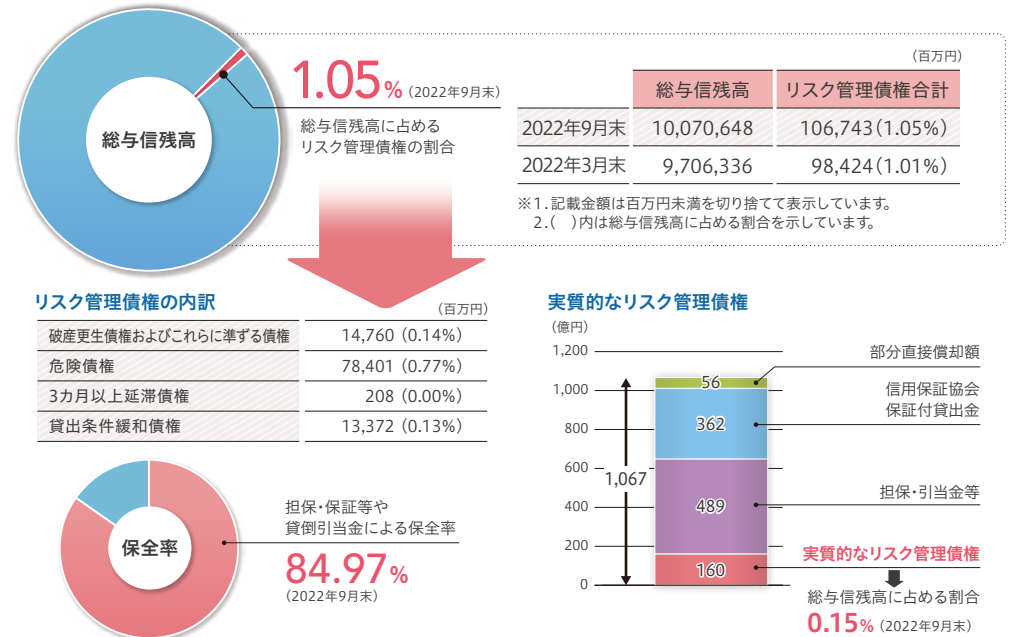


預金(平残)のうち静岡県内の割合 **86.2%**

リスク管理債権等の状況

2022年9月末のリスク管理債権の総額は1,067億円、総与信残高に占める割合は1.05%と低水準を維持しています。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は84.97%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額56億円、信用保証協会の保証付貸出金362億円、担保・引当等489億円を控除した実質的なリスク管理債権は160億円で、総与信残高に占める割合は0.15%です。

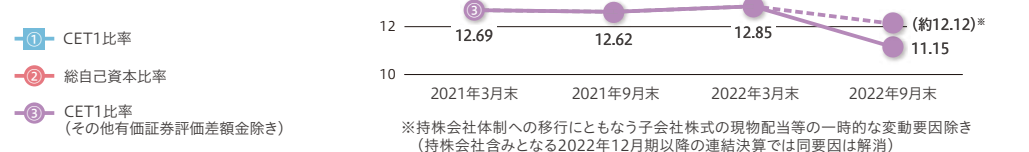
※「銀行法施行規則等の一部を改正する内閣府令」が2022年3月31日から施行されたこととともない、銀行法の「リスク管理債権」の区分等を、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律にもとづく開示債権の区分等に合わせて表示しています。



健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準)

自己資本比率(国際統一基準)は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2022年9月末の総自己資本比率(連結ベース)および普通株式に係る株主資本等を中心としたCET1(普通株式等Tier1)比率は、ともに14.25%となりました。



※持株会社体制への移行にともなう子会社株式の現物配当等の一時的な変動要因除き(持株会社含みとなる2022年12月期以降の連結決算では同要因は解消)

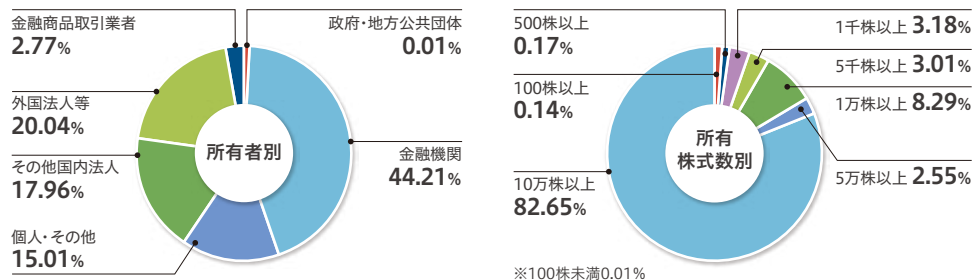
株式情報

2022年10月3日現在

株式の状況

株主数	23,571名 (2022年3月末比 1,267名増)	発行済株式の総数	595,129,069株
		保有自己株式数	0株

株式の分布状況(単元未満株式を含む)

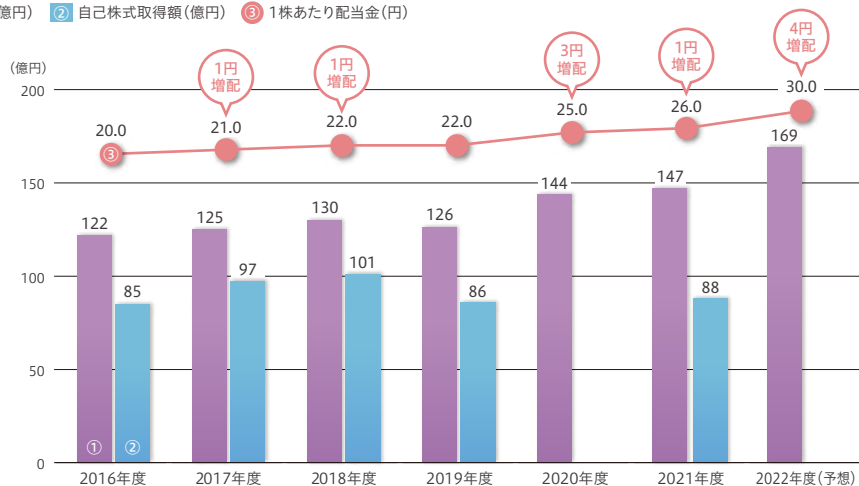


株主還元の様式

第14次中期経営計画(2020~2022年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%以上(連結ベース)」に則り、2022年度の1株当たり配当額(年間)は30円を予定しています。

株主への利益配分の状況

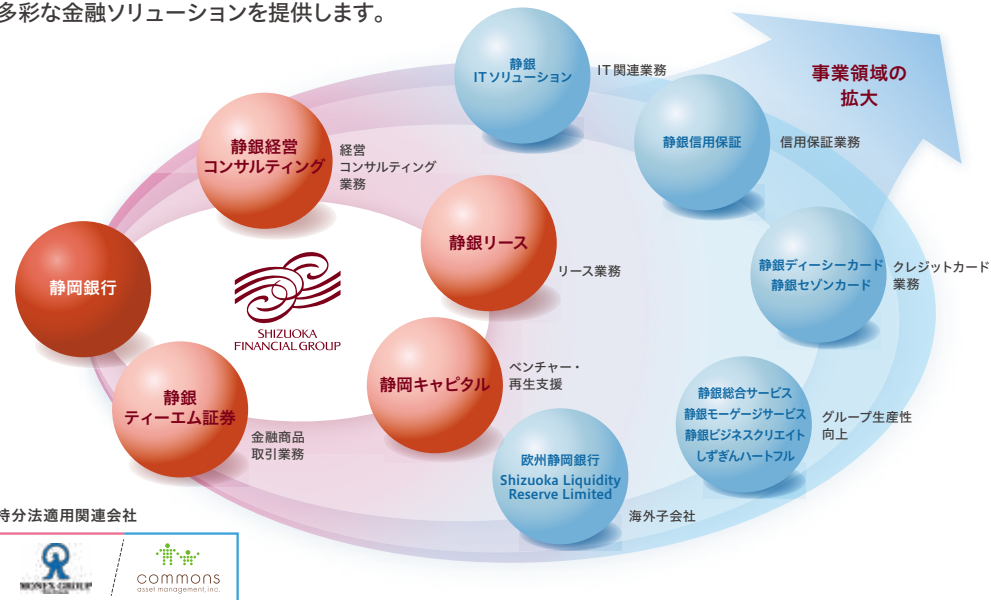
① 配当総額(億円) ② 自己株式取得額(億円) ③ 1株あたり配当金(円)



配当性向	41.5%	24.9%	27.6%	32.6%	32.8%	35.4%	31.3%
総還元性向	70.6%	44.3%	49.1%	54.9%	32.8%	56.2%	31.3%
親会社株主利益	293億円	501億円	469億円	387億円	436億円	416億円	540億円

記載金額等は原則として四捨五入で表示しています。

しずおかフィナンシャルグループが一体となって多彩な金融ソリューションを提供します。



持分法適用関連会社



- 静岡銀行: 地域のお客さまの課題やニーズに対応するため、幅広い金融サービス・商品を提供します
- 静岡経営コンサルティング: M&A、事業承継、経営相談、経営改善計画など、企業経営に関する幅広いコンサルティングニーズにお応えします
- 静岡ITソリューション: グループ各社のIT戦略の実現を支援するとともに、地域のお客さまにITソリューションを提供しています
- 静岡リース: ささまざまな用途の機械・器具・設備や、建機、自動車のリースなど、お客さまの設備導入ニーズにお応えします
- 静岡ティーエム証券: 投資信託やファンドラップ、債券、株式など幅広い商品ラインナップにより、多様化・高度化するお客さまの資産運用ニーズにお応えします
- 静岡キャピタル: ベンチャー投資や事業承継、再生支援など、さまざまなファンドを活用して、地域の中小企業の支援に取り組んでいます
- 静岡ディーシーカード: カード会員・加盟店に各種クレジットカード機能を提供し、利用者の利便性向上と地域の消費活動の活性化に取り組んでいます
- 静岡セゾンカード: 静岡での暮らしをサポートする「ALL-Sカード」など、地域の事業者と生活者をつなぐサービスを提供しています
- マネックスグループ: お客さまのライフスタイルを豊かにする未来志向のオンライン金融サービスを提供しています
- コモンズ投信: お客さまの資産形成を長期的に支援するため、投資信託などの商品・サービスを提供しています
- ターンザタイト: 企業の決算書健全化に関するサービス等を提供し、キャッシュフロー改善や円滑な事業承継の実現を支援する社内ベンチャー企業です

※お客さまに直接サービスを提供する会社を記載しています。



しずおかフィナンシャルグループ



この印刷物には、環境に配慮した
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した
「カラーユニバーサルデザインのための指針」を
参考に編集しています。